

エネルギーとまちづくりプロジェクト 2015 年度 SEED PLAN 評価

長期目標

化石燃料由来のエネルギー等の利用について改めて見直し、再生可能なエネルギーを誰でも選択し、利用できる持続可能な社会を目指します。そして、市民として、身近な市区町村単位での小規模な地域コミュニティの自治に関わるきっかけが見えやすい、参加型社会を創っていきます。

短期目標

目標	1) 2016 年の小売市場の自由化にあたって A SEED JAPAN 事務所で使用する電力を自然エネルギーへ切り替えます。
達成度	15%
結果と成果	<p>2016 年 4 月から小売電力自由化が始まり、50kw 以下の規模の契約も電力を選べるようになりました。しかし、2015 年 9 月より事務所が入居しているクリエイティブ One 秋葉原ビルは、ビル一棟全体で一つの電力会社と契約しているため、フロアごとに電力会社を選ぶということが不可能だとわかりました。それを踏まえてビルと交渉していくかについては未定ですが、本目標については今後も手段を検討していきます。</p> <p>(※SEED PLAN2015 作成時は ASJ が事務所移転前であったため、電力会社を選ぶことが可能でした)</p>
目標	2) 首都圏において自然エネルギー生産者である市民発電所の取り組みをしている団体や企業、専門家を交えて、東京におけるこれからの自然エネルギー普及について話し合う場を 2 回実施します。
達成度	30%
結果と成果	<ul style="list-style-type: none">・パワーシフトキャンペーン実行委員会や、アースパレード実行委員会に参加し、FoE Japan をはじめ他団体の専門家との情報交換や意見交換の機会を持つことができました。・11 月には、ASJ25 周年記念連続セミナー「Roots to Seeds」で横須賀市議会議員の小林伸行さんをお呼びした際、地域における再生可能エネルギー導入状況や課題について尋ねるきっかけを得る事が出来ました。また、2 月の合宿では、次年度の自治体調査を視野に入れて、小林伸行さんを訪ねて、横須賀における電力供給の状況や横須賀での小中高の電力の切り替えのためにどのような行動・施作を行ったのかについてお話を伺う機会を持ちました。・ブース出展に注力したため、上記以外の主催セミナー・勉強会は開催しませんでした。
目標	3) 日本各地で生まれている地域分散型のエネルギー自給の取り組みや電力を選べるようになる電力自由化について市民に伝え、地域においてエネルギーの自給に取り組んだり 2016 年に電力を選択する市民を 100 人増やします。
達成度	75%
結果と成果	<p>小売電力自由化の前年ということで、A SEED JAPANとして賛同団体となっているパワーシフトキャンペーンと共同で、2015年4月のアースデイ東京2015、9月の中津川The Solar Budokan 2015、2016年3月のPeace On Earthにおいてブース出展を行いました。自然エネルギーを重視する電力会社を応援する市民の声を可視化するパワーシフト宣言を集めると共に、自治体の再エネ導入状況や電力自由化に関する普及啓発を行いました。パワーシフト宣言は、アースデイ東京2015で72宣言、中津川The Solar Budokan 2015で43宣言、Peace On Earthで20宣言と、全体では135宣言を集めることができました。パワーシフトキャンペーンとしては、3600人超の宣言（2016年3月31日現在）が集まっています。</p>

年間活動

結果	4/18-19	アースデイ東京 2015 ブース出展 パワーシフトキャンペーンとの共同出展
	9/26-27	中津川 The Solar Budokan パワーシフトキャンペーンとの共同出展
	2/27-28	戦略会議@横須賀市（エネルギーとまちづくりプロジェクト合宿）
	3/5	『市民のブース出展術』講師：宮腰義仁（A SEED JAPAN 理事）
	3/11-12	Peace on Earth パワーシフトキャンペーンとの共同出展

総括

2014年1月にチームを立ち上げて、今年度は二年目の年となります。昨年度は、未来生活 now プロジェクトやエコ貯金プロジェクトとの共催や合同出展というかたちで勉強会やブース出展の経験を積むことができました。そうした中で、今年度はエネルギーとまちづくりプロジェクトとして単独での出展を行うことができました。2016年4月の小売電力自由化の前のタイミングであり、昨年度から賛同団体として参画しているパワーシフトキャンペーンとの共同出展を3回実施しました。ブース出展の中でも、中津川 The Solar Budokan は、今年で4年目のミュージシャンである佐藤タイジさんの声掛けによって始まったフェスで、太陽光ですべての電力を賄っているという通称太陽光フェスです。参加者層としては、地域性が高い印象でした。A SEED JAPAN としては、このフェスには初の出展となりました。今年度を振り返ってみると、ブース出展を昨年度から経験してきた中で、メンバーの経験値もあがってきたことを実感する一年でした。そうした中で、パワーシフトキャンペーンの呼びかけに注力するというを1つ軸として活動をしてきました。エネルギーとまちづくりプロジェクト独自のコンテンツという部分では、活動を作っていくということにおいては、二年目も取り組むことが十分にはできなかつたため、来年度以降に課題が残るかたちとなりました。

来年度に向けては、メンバーが就活や留学、進学、社会人となるなどさまざまに生活環境の変化がある中で、今後の方向性やチームの体制について再検討、再構築する必要性が出てきています。自治体調査についても、実施のめどが立っていない状況です。2016年度はそうした課題を踏まえて、新たな計画に沿って活動していきます。